

学苑



ECV・EVプロジェクト



軟式野球部



キャンパス父母懇談会

vol.166
特集!

2023年度 父母懇談会報告(キャンパス会場・地方会場)

参加者のみなさまからの声 p.3

就職キャリア支援 p.7

内定者インタビュー p.8

各キャンパスの紹介(CAMPUS MAP) p.18

サポート募金実施事業について p.19

Topics

イベント参加支援結果発表 p.13

TDU Space Project | 自動車部 | FCV・EVプロジェクト | 軟式野球部 | アマチュア無線部

後援会活動報告

後援会の皆様、平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、学生たちの生活も徐々に戻りつつあります。春の体育祭では学生たちから大きな声援が上がりました。お昼には学生食堂でマスクを外して歓談しています。一方で周辺の駅やキャンパス内でも感染対策としてマスクをした学生の姿も少なくありません。

今年度の講演会活動も、感染対策に配慮しながら活動を行っております。



後援会長
松島 周平

【総会・常任評議員会】

5月27日に東京千住キャンパス常任評議会を、7月15日には常任評議会を開催いたしました。これらの会議では昨年度の後援会の活動報告や予算の執行の報告を行い、また今年度の後援会活動の実施案や予算案の検討を行いました。常任評議会で事業計画および予算の審議を行い、了承をされました。ここでの事業計画や予算を元に、以降に報告する活動を行っていきます。

【父母懇談会開催事業】

父母懇談会は後援会活動の大きな柱です。千住キャンパスおよび鳩山キャンパス、日本各地の10都市の地方会場で開催されます。教員による個人面談や大学職員による個別相談を行い、ご父母・保証人の皆様に、成績学修、学生生活や就職活動など、お子様の大学生活全般について情報交換を行うことができる機会となっております。

昨年までは新型コロナ感染対策として、個人面談や個別相談のみしか実施できませんでしたが、今年度はご父母・保証人のみなさまとの懇談できる時間を増やす試みを行っております。キャンパス会場では学生食堂で、実際にお子様方と同じ学食のランチを召し上がっていただけるようにいたしました。地方会場では懇談会の冒頭に後援会からご挨拶できる時間を設けたり、面談や相談の後にケーキやコーヒーなどをお出しして、ざっくばらんに後援会役員や参加のご父母同士、歓談できるよう場を設けさせていただきました。

父母懇談会は、お子様の学校生活に関して日頃感じておられること、不安を感じている点などを学校側と意見交換できる良い機会です。毎年開催する事業ですので、ぜひご活用ください。

【広報活動】

大学やキャンパスの様子をお伝えする情報誌『学苑』を年3回発行しております。この数年、対面での取材が難しかったのですが、今年度は「研究室訪問」が再開されます。後援会内で「学苑委員会」を編成し企画を練り、誌面の充実に努めております。紙媒体以外にも、後援会のホームページも公開しております。ご利用ください。

【学生支援活動】

9月の常任評議会終了後に、学生の部活動で行われるイベント活動支援のための審査会を行いました。支援を希望する学生たちは評議員の前でプレゼンテーションを行います。大勢の大人のまえでのプレゼンテーションですので学生の緊張感が伝わってきます。審査後に内容を検討し、申請希望通りとはなかなかありませんが、各団体に資金支援をおこないました。他にも図書館での図書購入、就職活動にかかわるイベントの補助、心と身体に関する24時間の電話窓口への補助など、大学での学校生活に関する様々な学生支援活動を行っております。

今後も、後援会活動にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2023年度 父母懇談会 事務局報告 (キャンパス会場)

今日では多くの大学において父母懇談会が開催されておりますが、本学では他大学に先駆け1967(昭和42)年から父母懇談会を開催し、ご父母・保証人と後援会役員、大学教員、大学事務局と共に懇親を深めつつ、大学の状況、教育、生活をご父母・保証人へお伝えしてまいりました。

父母懇談会のキャンパス会場は、各学科・学系の教員が個人面談を実施しました。また、併せて、学修・就職・学生生活の個別相談コーナー(学生による大学院紹介、成績学修相談、就職進路相談、学生生活・奨学金相談)を設け、事務職員が対応いたしました。

東京千住キャンパス会場では、9月9日(土)に未来科学部、システムデザイン工学部、10月7日(土)に工学部、工学部第二部の全学年を対象として、個人面談や個別相談のほか、ものづくりセンター、総合メディアセンター(2号館1階)の自由見学の開催をさせていただきました。

埼玉鳩山キャンパス会場も同様に、全学年を対象に9月16日(土)に開催することができました。

お陰様で、東京千住キャンパス会場・埼玉鳩山キャンパス会場共に、昨年のキャンパス会場の参加者より多くのご父母・保証人のみなさまにご出席いただき、無事に終えることができました。ありがとうございました。

*父母懇談会のキャンパス会場にご参加いただいたご父母・保証人のみなさまより「父母懇談会参加者のみなさまからの声」[「地方父母懇談会(宇都宮会場・札幌会場)」(P3-4)]が届いておりますので、ご覧ください。

*次号では、地方父母懇談会(166号に記載させていただいていた地方会場以外)の報告を予定しています。

会場	開催日	後援会役員	面談教員	出席者数	
東京千住キャンパス	9/9(土) 全学年対象 未来科学部・システムデザイン工学部・ 情報環境学部	会長・常任評議員 (5名)	各学科教員 (58名)	307組	437名
埼玉鳩山キャンパス	9/16(土) 理工学部(全学年対象)	副会長・常任評議員 (5名)	各学科教員 (63名)	213組	335名
東京千住キャンパス	10/7(土) 全学年対象 工学部・工学部第二部	副会長・常任評議員 (5名)	各学科教員 (61名)	324組	438名
本学キャンパス会場 計				844組	1,210名

後援会役員より父母懇談会の報告

●常任評議員 秋山 ちなみ(9/9 東京千住キャンパス)

当日はたくさんのご父母・保証人の方々が参加され、構内はとても賑わっていました。

今年度から常任評議員になり初めて父母懇談会をお手伝いでしたが、このような素晴らしい取り組みを行っている学校側に感謝すると同時に、私も保護者の一人として東京電機大学に入学できたことを嬉しくも思いました。来年もぜひ多くの方に参加していただきたいです。

●常任評議員 深見 美行(9/9 東京千住キャンパス)

まだ暑さが残る本年度最初の父母懇談会に参加致しました。当日は500人のご父母・保証人にご参加を頂き盛況に終わりました。本年は学生食堂にて、個人面談等が終了したご父母・保証人様にお子様実際に食事しているメニューと同じものをお召し上がりながら休息して頂くことができ好評でした。私自身初参加でしたので良い経験が出来ました。

●常任評議員 近藤 木綿(9/16 埼玉鳩山キャンパス)

不慣れな中でも無事に父母懇談会のお手伝いが出来ました。個別相談コーナーにて、来場された方々を相談ブースまでご案内させて頂きましたが、どの相談員の方も時間の許す限り真摯に相談に乗ってられました。教職員の方々の学生達や御父母、保証人の方々への熱意が感じられる大変貴重な体験をさせて頂きました。

●副会長 残間 直光(9/16 埼玉鳩山キャンパス)

今年度は、昨年度よりも多い300名を超えるご父兄にご来場いただきました。個別相談では、成績・進級関連、就職関連、奨学金関連のブースに分かれ、50席ほどの待合席が埋まってしまうほど大盛況でした。ご父兄の相談事項について、各ブースで親身にご回答いただき、ご家族との会話に通じる有意義な場になったと感じます。

●常任評議員 新澤 佳代(10/1 宇都宮会場)

宇都宮ライトレールの黄色い車両が静かに通る角のホテルが会場でした。参加されたご父母・保証人の方々に後援会の活動についてご紹介することができ、ご理解いただけたことはとても良かったと思います。懇親会とまではいきませんが、コーヒーとケーキが皆さんを和ませ、交流が生まれていていたように思います。

●常任評議員 井上 美樹(10/7 東京千住キャンパス)

今回初めてお手伝いさせて頂きました。朝早くからたくさんの方々が参加されており、皆様とても熱心だなあという印象です。アンケートのご協力も気持ち良くお引き受け頂きました。食堂での休憩も、普段大学に中々足を運ぶ機会のない保護者にとって良い試みだったと思います。個人的にも他の役員の方々と交流ができて良かったです。

●副会長 飯田 智子(10/7 東京千住キャンパス)

今年度は個人面談後にご父母・保証人様に学生食堂にいらしていただき、「学苑」の執筆やアンケート記載等へのご協力を頂きました。また学生の方々のお手伝いがとても有難く、笑顔でスムーズに誘導くださいました。秋晴れのさわやかな日、和やかな雰囲気を感じられた父母懇談会でした。

●副会長 龍田 恵里(10/8 札幌会場)

当日は天気にも恵まれ、爽やかな秋晴れの中での開催でした。札幌会場に参加されたのは3組と少なかったのですが、その分相談ブースなどでの時間をゆっくりと有意義にお過ごしいただけたのでは、と思います。また、コロナ禍後初の全体会もあり、後援会活動を知っていただく良い機会となりました。

特集

2023年度 父母懇談会報告 参加者のみなさまからの

声

後援会主催の父母懇談会では、学内の最新の情報やご子女の学修、就職状況など、タイムリーに紹介されております。また、同じ大学で学ばれているご父母・保証人同士の交流や情報交換の場としても活用していただけます。父母懇談会へぜひご参加ください。



東京千住キャンパス会場
9月9日(土)

未来科学部
ロボットメカトロニクス学科
市川 亜扶理様

今年度、息子が未来科学部ロボットメカトロニクス学科に入学しました。

高校と違い、本人主体での判断や行動が多くなり、心配だったので父母懇談会に参加させて頂きました。

当日、担当して下さった先生は成績や普段の様子、大

学院への進学について丁寧に説明してくださいました。教科の難易度や今後の履修についても聞くことができ、「どんどん勉強が好きになってほしい。」と仰っていたのが印象に残りました。お話を聞くうちに私の緊張もとけ、不安もなくなりました。大学でこのような機会を頂けるとは思っていなかったため、子どもだけではなく、保護者としても恵まれた環境だと思いました。

またこのような機会がありましたら是非参加させて頂きたいと思います。

父母懇談会の開催にご尽力いただきました大学関係者、後援会の皆様に心より感謝申し上げます。



東京千住キャンパス会場
9月9日(土)

システムデザイン工学部
デザイン工学科
哥 良太郎様・博美様

4月に我が家の末っ子がシステムデザイン工学部デザイン工学科に入学しました。大学一般入試を初めて迎える我が家では、主人とともに入学試験へ同行し、家族みんなで大学受験を乗り越え、お互いの信頼関係や絆が深まり良い経験となりました。

春の入学式や夏の懇談会へも主人と2人で出席させていただきました。個人面談では、成績やキャンパスライフなど細かくお話しいただき、大学院入試へのアドバイスもいただき、とても有意義な時間となりました。

高校3年間でコロナ禍であったため、クリーンな清潔感のあるキャンパスで、新しい友人達と学び、大学生活を楽しんでいる姿を見てみると、とても素晴らしいことと感じています。

これからは、本人の進むべき道筋を見守っていければと思います。

最後になりますが、このような機会を設けていただき、大学関係者さま及び後援会の皆さまに感謝申し上げます。



埼玉鳩山キャンパス会場
9月16日(土)

理工学部 理工学科
宮澤 真人様・こずえ様

娘が理工学部の2年生でお世話になっております。今回で2度目の参加をさせていただきました。

地方会場での開催もありますが、離れて1人で暮らす娘の様子を見たり、実際に通っている大学も拝見できるので鳩山キャンパスへ足を運びました。

個人面談では、面談時間のカードが事前に手元に届いたので時間に余裕を持って参加でき、先生から娘の成績表を見ながら成績状況や今後の事を分かりやすく丁寧に説明していただきました。

今回は就職相談もさせていただき、担当の方の明るくハッキリとした説明に安心できました。

個人面談や就職相談でアドバイスいただいたことを娘とも共有でき、有意義な時間となりました。

このような機会を設けてくださいました大学関係者、後援会の皆様に感謝申し上げます。



宇都宮会場
10月1日(日)

理工学部 理工学科
濱野 久美子様

今年度より息子が理工学部でお世話になっております。入学後、子供が親の手を離れ急に遠くへ行ってしまった様な寂しさを感じていた頃に父母懇談会のお知らせが届きました。親に出来る事はもう何もないと思いつつも、息子が学びたかった分野への理解を深めたく参加する事を決めました。

ご担当の松浦先生は息子の成績、修得単位数などの資料を作成して下さい、一つ一つ丁寧に説明して下さいました。そして息子の単位の取り方や親として何が出来るかなど、個人的な質問にもお答え頂き不安を解消して頂きました。また後援会の皆様も気さくに話かけて下さり、温かい方々が子供達をサポートして下さいている事到大変安心致しました。

今回父母懇談会に参加させて頂いた事で大学を身近に感じる事が出来、安心して子供をお任せ出来ると感じました。このような機会を設けて下さり大学関係者、後援会の皆様に心より感謝申し上げます。



東京千住キャンパス会場
10月7日(土)

工学部 応用化学科
大滝 ゆう子様

息子が工学部応用化学科4年に在籍しており来春大学院へ進学予定です。

入学時はコロナ禍でオンライン授業のみでしたので思い描いていた大学生活が送れず親としても心配が尽きませんでしたが、先生方のご尽力もあり息子も前向きに過ごすことが

ができました。

制限が緩和し、通学できるようになると利便性の良い立地ということもあり、更に前向きに楽しく過ごせているようで安心しております。

今回の面談では成績の状況や研究への取り組み方、大学院でやるべき事や就職へ向けてのアドバイス等をして頂き、今後の指針にもなり大変有難く有意義な時間でした。また、自主性を重んじて接して下さい過ごしやすい環境を提供していただき感謝いたしております。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。そしてお忙しい中この様な機会を設けて頂き、関係者の皆様へ感謝申し上げます。



東京千住キャンパス会場
10月7日(土)

工学部 機械工学科
福田 裕之様・さやか様

昨年に続き、2回目の父母懇親会に夫婦で参加しました。工学部機械工学科3年に在籍しています。息子がお世話になっている大学の様子を知る良い機会がもうけられ大変うれしいです。

今年はコロナによる制限も緩和され公開施設を自由に見学することができ、とても有意義な時間となりました。も

のづくりセンターは規模が大きく驚きました。

個人面談では和やかな雰囲気の中、成績、大学院への進学、就職についてなど先生より丁寧な説明があり、帰宅後に息子の将来を一緒に考えることができました。来年もぜひ参加したいと思っています。息子も学業、委員会活動を通じて友達や先輩、後輩の方と毎日充実した大学生活を送っているようです。

最後になりましたが、大学関係者の皆様、後援会の皆様に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。



札幌会場
10月8日(日)

工学部第二部 機械工学科
高橋 千菜美様

1年次より継続して札幌での懇談会に参加させて頂いています。道外の大学進学で都会の学生生活に順応していけるのかと親としては心配が多くありましたが、大学事務部の皆様に当時から親身なお声掛けを頂き、遠く離れた大学が身近に感じ、安心を得ることができています。有難うございます。

また個人面談では、松村教授から、息子の学修状況や就職に係る情報を丁寧に説明して頂きました。事前に息子との直接面談を設けて下さり、貴重な助言や励ましを頂いたとも聞いています。技術者としても、人としても社会の中で自信をもって生きていけるよう愛をもって学生の成長を支援してくださっていることに心から感謝申し上げます。息子が鉄腕アトムの描かれた大学資料を手にしたことで良い環境の中で学び、関係者の皆様のお陰で私も地方で懇談に参加し、様々な繋がりをもつことができています。有難うございます。会場での美味しい珈琲や甘味にも心が和みました。

奨学金制度のお知らせ

東京電機大学では下表に示すように10種類の大学独自の奨学金制度があり、修学支援に力を入れています。さらに「日本学生支援機構奨学金」や各種団体による奨学金を含めると、学部生と大学院生を合わせて、4,000名を超える学生が奨学金を利用して学生生活を送っています。

奨学金に関するお問い合わせは、各キャンパス（学生厚生担当）まで、ご連絡をお願いします。

名称	資格	募集時期	採用時期	金額	返還	(2023年度)採用実績
特別奨学金 (給付)	学部2～4年次、大学院博士課程に在学し、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者。	5月	7月	学部 280,000円 博士課程 505,000円	—	学部25名 大学院(博士) 29名
大学院進学特別奨学金 (給付)	本学大学院修士課程への進学促進のための経済的支援策(経済的に修学困難な学生への支援策)として学内推薦入試で合格した本学学部生のうち、成績ならびに人物が優秀な者。	4月	7月	200,000円	—	学部115名
大学院進学貸与奨学金 (貸与)	本学大学院修士課程へ学内推薦入試または一般入試(前期)にて進学予定の者。	4月と8月の年 2回	6月 10月	第2回入学手続金のうち授業料相当額	無利子・卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	19名
学生応急奨学金 (給付)	学部・大学院に在学し、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者。	1年以内に家計急変があり学費支弁が困難な者で、他奨学金の貸与状況・家計急変状況・学費延納状況等から総合的に判断し、本奨学金の趣旨に相応しい人物を採用。定期募集は行わない。		学部 50万円の範囲内で決定 大学院 30万円の範囲内で決定	—	0名
学生サポート給付奨学金 (給付)	学部・大学院に在学し、過去1年以内に家計に急変があり、修学意欲がありながら学費支弁困難であり、大学が主催する学生行事において学生ボランティアスタッフとして協力できる者。	5月と9月の年 2回	7月 11月	250,000円	—	3名
深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金 (給付)	大学院に在籍し、本奨学金の趣旨を理解している者で、大学行事において学生ボランティアスタッフとして協力できる女性学生。	5月	7月	100,000円 ただし、工学研究科(社会人コース)に在籍者は66,000円	—	92名
学生救済奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、保証人(家計支持者)の経済的な理由で学費の支払いが困難な学生。貸与は在学期間中1回に限る。	4月と9月の年 2回	6月 11月	該当学期(セメスター)分の学費相当額。 奨学金は学費に充当する。	無利子・卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	12名
学生支援奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、本学主催の海外英語研修への参加および高額な教育装置の購入など自己資質向上を目的とする学生。貸与は在学期間中1回に限る。	随時		30万円の範囲内で査定	無利子・卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	1名
大学院貸与奨学金 (貸与)	大学院に在学し、人物優秀にして学業成績が良好、かつ学費支弁が困難な者。	4月と9月の年 2回	6月 11月	該当学期の学費相当額	無利子・卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	2名
校友会奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、家庭の経済的事務の急変により学業継続が困難な学生(主に卒業年次生対象)。貸与は在学期間中1回に限る。	4月と9月の年2回		1回に納入する学費等の相当額	無利子・卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	1名
日本学生支援機構奨学金 (貸与)	国が実施する貸与型の奨学金。第一種(無利子)と第二種(有利子)がある。	4月と9月の年 2回	7月上旬	奨学金の種類等により月額2万円～12万円(学部)	卒業7か月後から機構が定める金額・期間で割賦返済。	在学生の約40%が利用
日本学生支援機構奨学金 (給付)	国が実施する給付型の奨学金。学部生のみ。	4月と9月の年 2回	7月上旬	経済基準及び通学形態等により月額12,800円～75,800円	—	学部約700名
各種団体による奨学金 (給付・貸与)	地方公共団体や、各種民間団体の奨学金募集が数多くあり、毎年30名程度が利用。					

東京千住キャンパス 地域との交流



東京千住キャンパス開設年度より継続して協力している、千住本氷川神社例祭神輿担ぎを、本学学生の旭祭実行委員会・ボランティア部が9/17(日)「千住氷川神社例祭」に参加してまいりました。

本学学生の千住本氷川神社例祭神輿担ぎへの協力について

コロナ禍での自粛などもあり開催が近年中止されていましたが、4年ぶりの開催となりました。

学生団体と地域との交流が途絶えていましたが、今回学生団体の学生が神輿担ぎに協力することで、地域の皆さんと交流を深め、千住地区を大いに盛り上げてくれました。

当日は天気恵まれ、非常に暑い中での参加で熱中症も懸念されましたが、旭祭実行委員会およびボランティア部の両団体の学生に熱中症や怪我をする学生も無く無事終了しました。



特集

東京電機大学

就職キャリア支援

～一人ひとりが主体的にキャリアをデザインする力をサポート～

■業界を知るための業界研究セミナー

「技術で社会に貢献する人材の育成」を使命としている本学では、学生の大半はエンジニアとして就職します。自分が将来どんなエンジニアになりたいかを考える上で、業界や仕事を知ることは就職の方向性を決める上で大変重要です。本学では低学年から参加できる「業界研究セミナー」をオンラインで開催しています。業界研究セミナーでは、第一部は全体的な業界の話や、競合他社の話など業界の理解と企業の比較ができるような構成になっています。第二部では興味がある企業について詳しく説明を聞くことができます。希望する業界が定まっていなくても、気になる業界のセミナーに参加してみることは仕事を知ることにつながります。また、自分の興味がどこにあるのかを気づくのにも有効です。

●業界研究セミナーのご紹介 **19業界、55社の企業が参加**

参加業界は総合建設、鉄道、産業機械、自動車、ソフトウェア通信、化学、医療、半導体など多岐に渡ります

■仕事を知る、技術に触れる機会をもつためのインターンシップや技術展示会

仕事を知るには、企業のインターンシップに参加することをお薦めしています。今年の夏から政府が従来のインターンシップと呼ばれていたものを4つに類型化しました。長期休暇を利用して就業体験が必須の5日間以上のものは「インターンシップ」と称して実施され(他にも条件あり)、短期間のものや、就業体験を伴わないものは「オープン・カンパニー」や「キャリア教育」と呼び方も異なるようになりました。どんなタイプのものであれ、自分の目で見て体験できるのは貴重な機会です。特に低学年の内はいろいろな業界をみて視野を広げてみるとよいでしょう。3年生になるとインターンシップが早期選考の入り口になる場合もありますので、志望度の高い企業であれば、しっかり準備をして参加することをお薦めします。本学では、前期は先輩方のインターンシップ体験談や、リクルータによるインターンシップに関連するセミナーなどを開催しました。またインターンシップに参加するためのエントリーシートの添削などはキャリアアドバイザーが中心となって対応しています。秋冬もインターンシップやオープンカンパニーはありますので、学業優先であることはもちろんですが、可能な範囲で参加することをお薦めします。また12月には東京千住キャンパスで、企業の技術に触れる「技術展示会」を開催します。話を聞くだけでなく、実際のモノに触れることで、モノ作りの魅力を実感できるイベントです。

TDUキャリアデザインプログラム (学部・修士全員対象)

就活に役立つ! 電大生のための!

TDU技術展示会2023

日 時: 12/2(土) 13:00~16:00

会 場: 東京千住キャンパス 100周年ホール

参加予定企業: **TOSHIBA** **MARVELOUS** **Rakuten**
(一例) **SUBARU** **azbil** アズビル株式会社



■企業を知る、働くイメージを持つ「卒業生による仕事研究セミナー」

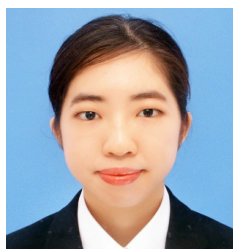
業界・仕事・技術の次は、卒業生から直接仕事の話を知ることができる「卒業生による仕事研究セミナー」へ是非参加していただきたいと思います。

後援会よりご支援いただいております「卒業生による仕事研究セミナー」は、今年度は、東京ビックサイトで対面型のセミナーと自宅から参加できるオンライン型の2種類で開催する予定です。対面での開催は1月23日(火)、オンラインでは1月25(木)、26日(金)に開催いたします。

2日間で300社以上の企業の卒業生から仕事の話や、やりがい、更には卒業生ならではのアドバイスなど貴重な情報を得ることが出来ます。学生たちは先輩の話聴いて仕事の理解や魅力を知る絶好の機会であり、普段、社会人と接する機会が少ない学生にとっては卒業生と会話することでコミュニケーションの重要性を確認する上でも貴重な経験を行うことができます。

このセミナーに参加するために学生には事前説明会を開催し、予め企業研究をするなど準備をしっかり整えて参加できるように支援を行っています。採用試験においてはオンラインと対面の面接試験を実施する企業が増えておりますので、それぞれに参加することで話の伝え方や印象の違いを実感して欲しいと思います。

強い意志をもって



工学部 応用化学科

大川 幸子さん

内定先 アルプスアルパイン株式会社

——学生生活や勉強、卒業研究で興味をもって取り組んだことは何ですか。

私は旭祭実行委員会に所属し、模擬店を出店する団体と保健所をつなぐ役割を担当しました。3年次の旭祭は大学入学後初めての対面開催でしたが、無事に成功させることができ、大きな達成感を味わいました。また卒業研究では蓄電デバイスの一つであるスーパーキャパシタの蓄電容量を向上させる研究に取り組んでいます。内定先も電子部品メーカーであるため、卒業研究を通して得られる知識は社会人になってからも役立つと考えています。

——就職活動の自己分析や企業研究などで、実践して役立ったことは何ですか。

大学3年の夏から様々な業界のインターンシップに参加しました。職種についても営業職、技術職など幅広い職種を体験したため、自分が興味のある企業や職種を絞ることができました。また私はキャリアアドバイザーにエントリーシートを添削してもらったことがとても役立ちました。自分が納得できるまで何度も添削してもらったことで読みやすく伝わりやすいエントリーシートを企業に提出できたため、その後の選考に自信をもって臨めました。

——コロナ禍での就職活動で苦労したことは何ですか。

私が受けた企業の多くは最終面接のみ対面でその他はオンライン面接だったため、対面とオンライン両方の面接に対して準備をする必要がありました。その中でも特にオン

ライン面接では照明や背景、周囲の音など面接環境に気を配らなければならなかったため苦労しました。また、オンラインでの面接中は目線の動かし方や大きく頷く、身振り手振りを付けるといったことに注意し、自分の反応が面接官に伝わりやすくなるように工夫しました。

——就職活動中に、ご父母・保証人にもらってよかったことは何ですか。

就職活動が本格的に進むとエントリーシートや面接に追われて志望業界のニュースが把握しきれないことがありました。夕食時の話題としてそのニュースを教えてくれたので、大変助かりました。またオンライン面接の時間が家族の帰宅時間と重なった際には音に配慮してくれたり、不合格の通知が来ても励ましてくれたりと私が就職活動をスムーズに進められるように協力してくれたため、とても感謝しています。

——就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

私は営業職志望であり、周囲の人と志望職種が異なっていたので、不安になることもありました。しかし、自分は営業職に就きたいという強い意志をもって選考に臨み、内定をもらうことができました。就職活動中は周囲の人の内定が先に決まったり、自分ではうまくいったと思った面接で落ちてしまったり、様々なことで不安になると思います。ですが強い意志があればその熱意が伝わり、良い結果につながると思いますので頑張ってください。



夢を実現するために



工学部二部 機械工学科

原 大基さん

内定先 いすゞ自動車株式会社

——学生生活や勉強、卒業研究で興味をもって取り組んだことは何ですか。

私は中学生時代に自動車への興味を持ち、そこから将来は自動車に関わる仕事がしたいと考えるようになりました。そのころから自動車の構造を勉強し、自動車の製作に携われるような進路を選択するようになりました。勉強面では、熱機関や機械設計製図などに力を入れ、自動車関連の勉強を積極的に行うとともに、自身でも大学では行われない自動車の構造の勉強などをしていました。卒業研究の鋼材の腐食実験では、自動車のボディの研究に応用できると考えており、積極的に行いました。

——就職活動の自己分析や企業研究などで、実践して役立ったことは何ですか。

以前から自動車関連企業への就職を志していたことから、自己分析が周りより進んでいたため、有利に進められたと考えています。企業研究に関しては、以前からそれぞれの企業の自動車の特色を理解していたので、そこから志望動機に繋げることができたと考えています。実践して役立ったこととして、自動車の構造への理解度の高さが強みになったと考えています。面接で今後自動車をどうしたいかという旨の質問をされた際、自動車の構造から論理的に将来への展望を語ることが出来たため、スムーズに選考を進めることができた要因だと考えています。

——コロナ禍での就職活動で苦労したことは何ですか。

1、2年で課外イベントに参加することが出来なかった

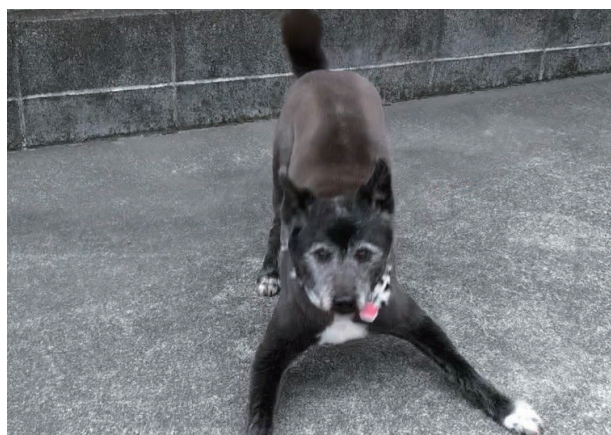
め、学業以外の話をするのが難しかったです。私は主にアルバイトの話をしたが、やはり自主的にボランティア等の活動を行うことに比べると少し弱いと感じました。そのため、志望動機や今後どうしたいか等の質問で補う必要がありました。またオンラインでの面接は、実際に会って面接を行うよりも自分の人柄を伝えることが難しく、カメラ越しでも正しく伝わるよう努力が必要でした。

——就職活動中に、ご父母・保証人にしてもらってよかったことは何ですか。

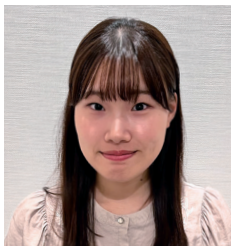
私は両親に、社会人としてどのような態度が相手への印象をよくするか、適切かを教えていただきました。また、自動車メーカー二社に内定をいただき、どちらがいいかを悩んでいるときに相談に乗ってくれました。私では分からないような保険制度の見方などを教えていただき、選択の助けになりました。

——就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

就職活動という人生の節目に差し掛かり、迷うことも多いと思います。しかしながら、やるべきことは先輩や先生など、経験者から聞いて対策することが出来ます。自分だけで解決しようとせず、積極的に頼れる人に相談することが大切です。ただし、志望動機など自分で考えるべき部分もあります。自分の意見を出すべき場所では、積極的に熱意を伝えることが大切です。自分が興味を持ち、熱意をもって勉強した分野への熱意を、企業に伝えることを意識すべきと考えています。



身近にあるもの



未来科学部 情報メディア学科

今川 遥菜さん

内定先 凸版印刷株式会社(TOPPAN 株式会社)

——学生生活や勉強、卒業研究で興味をもって取り組んだことは何ですか。

私は授業を通じてグループ活動でのものづくりに興味を抱きました。三年次「サーバプログラミング演習」という授業を履修し、実際に四人でシステム開発を行いました。皆で協働して一つのシステムを作り上げるという経験は初めてでしたが、そこでチームで取り組むことの大切さや、一人で作るもの以上に工夫を凝らしたものが作り上げられること、そして困った時やうまくいかない事があっても仲間がいることで成し遂げることでできる事の達成感を感じました。私はこの経験を通じて、チームで取り組むような仕事をしたいと思えるようになり将来どんな仕事をしたいかという考えも膨らんでいきました。

——就職活動の自己分析や企業研究などで、実践して役立ったことは何ですか。

サークルや部活動に参加していなかったため、自己分析で何をアピールしたらいいのかという部分で悩みました。しかし特別な活動をしていなくても、日々の学校生活に目を向けることでアピールポイントは勿論、長所短所なども沢山見つけることができました。企業研究では業界は絞らず、自分のやりたい仕事ができる会社であれば幅広く業界リサーチを行うことで、「ここが良さかも!」と思える企業に出会うことができました。



——コロナ禍での就職活動で苦勞したことは何ですか。

私はオンライン面接に苦戦しました。画面に映る面接官の方を見てしまい、どうしても自分の目線が下がって見えてしまうこともあったのでカメラ位置の調整等で改善しました。一方で、オンライン面接では移動時間が必要ないので時間を有効に活用できたというメリットもありました。

——就職活動中に、ご父母・保証人にしてもらってよかったことは何ですか。

コロナ禍もあり、オンライン面接もいくつかありました。自宅で犬を飼っていたこともあり、面接時間に合わせて犬の散歩に行くなど静かな環境を作る配慮をしてくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。

——就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

就職活動は沢山緊張したり不安になったりすると思います。そんな時家族は勿論、友人や教授に相談することで心が救われました。また内容も大切ですが、まずは笑顔で相手の目をみて面接できるだけでも好印象を与えることができます。面接等で自分の伝えたい思いを最大限に発揮できるよう、時にリフレッシュしながら自分を信じて頑張ってください!



未来の自動車をITで支えていくために



システムデザイン工学部 情報システム工学科
阿部 優輝さん

内定先 株式会社 SUBARU

——学生生活や勉強、卒業研究で興味をもって取り組んだことは何ですか。

私はデータサイエンスを専攻しており、機械学習やデータ分析学を重点的に学んできました。特にSQL言語を使用したデータベースとPythonを用いた機械学習手法の講義が非常に好きで、友人と共に講義終了後に出される課題を解決する時間が楽しかったことを今でも覚えています。卒業研究では、警視庁が提供している交通事故のデータを利用し、交通事故の原因を分析する研究を行っています。また、軽音サークルやアルバイトにも積極的に取り組み、大学生のときにしかできない有意義な時間を過ごせたかなと思っています。

——就職活動の自己分析や企業研究などで、実践して役立ったことは何ですか。

自己分析は、「自分自身がどのような人間なのか」を小学生から現在までを振り返り、企業が求めている人材と、自己分析した内容と照らし合わせて、自分がその企業にマッチしているか否かを常に行っていました。企業研究では、会社説明会や1dayワークショップ等に参加したりしてその企業の特徴を掴み、企業の概要だけでなく、福利厚生等も注視しながら企業選びをしていました。また、その企業の面接の雰囲気や、どのような質問がされるのかを事前にワンキャリアを活用して対策していました。

——コロナ禍での就職活動で苦労したことは何ですか。

インターンや面接がほぼオンラインであったため、職場の雰囲気や、実際の業務内容をこの目で確認できなかったことは少し残念でした。ただ、オンラインにもメリットはあり、電車移動がないので、複数の企業の会社説明会に気軽に参加することができ、かつ自宅での参加だったので、身体的負担は少なかったかなと思います。オンラインの面接では、対面と比べて目線のやり方や入退室時のマナーが異なるので、事前にYouTube等で予習しておき、面接時は、常に笑顔でいることを意識していました。

——就職活動中に、ご父母・保証人にしてもらってよかったことは何ですか。

両親は私の志望していた業界や企業には一切否定せず、

自分のやりたいことができる企業に行ってほしいと言ってくれました。一人暮らしだったので、就職活動中も、「なにか困っていることはないか」と心配の連絡をしてくださり、離れていても常に支えてくれていました。面接直前まで応援のメッセージをくれて、面接で自分を出すことはできたのは両親の支えがあったからだと思います。内々定の報告を両親にしたときは号泣しており、就職活動を本気で頑張ったよかったなと感じました。

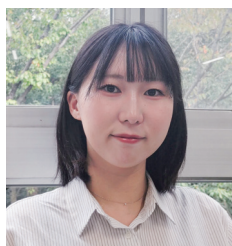
——就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

近年の就職活動は早期化しており、今後は3年生で内々定を持っていてもおかしくない時期がやってくると私は思います。そのため、早い時期に自分のやりたいことや行きたい業界を絞り、インターン等に参加して、本当に自分がその仕事に適しているのかを定めておくと、円滑に就職活動ができると思います。電大は就職支援も素晴らしいので、キャリアセンターを有効活用して、ESの添削や面接対策を入念に行い、最後に笑顔で終えることができていれば、それは納得のいく就職活動ができたという証明になるでしょう。ずっと就職活動のことを考えていても精神的に疲れてしまうので、時には息抜きも必要ですよ！

教授に相談してみてください。面接やESに落ちても、私を見る目がないな、くらいの気持ちで挑んでください。企業は選んでもらうのではなく、選ぶものです。緊張するとは思いますが、一生懸命努力してきた自分を信じて頑張ってください。



コロナ禍だからできること



理工学部 理工学科電子工学系
堀 帆風さん

内定先 富士電機株式会社

—— 学生生活や勉強、卒業研究で興味をもって取り組んだことは何ですか。

入学後、先輩が描いたロボットの設計図を見て、私も複雑な設計図を描けるようになりたい！ という気持ちを抱いたことをきっかけにロボット製作の部活に入りました。オンライン活動下での知識、技術取得の難しさに直面しつつも、自分で自由にロボットを製作するという経験を通し、ものづくりの楽しさを学びました。卒業研究では脳磁界計測装置を用いて言語の聞きとり時の脳活動を計測し、考察するという行っています。日常的な行為に科学的な考察を加えることはとても楽しく、充実した毎日を過ごしています。

—— 就職活動の自己分析や企業研究などで、実践して役立ったことは何ですか。

キャリアアドバイザーさんとの個人面談が最も役立ちました。毎回の面談では、例えば次回面談までに目に留まったインターンシップを複数社リストアップしてくるよう、といった企業研究や自己分析の課題が与えられました。これらに取り組むうちに自分の価値観や興味が次第に明確になり、自分や企業への理解を深めることができました。また定期的に面談予約を入れるようにし、自己分析や企業研究に取り組まなくてはいけない状況を作ることで自分を奮い立たせていました。

—— コロナ禍での就職活動で苦勞したことは何ですか。

対面でのイベントが少なかったことです。インターン

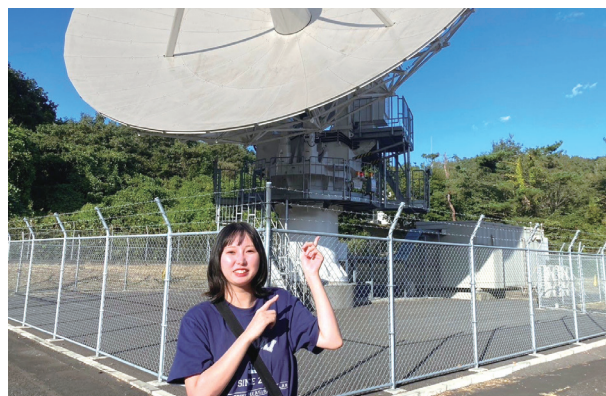
シップに参加した際に事業、職務内容は似ていても、企業ごとに独自の雰囲気があることを肌で感じ、驚きました。実地訪問でなければ感じられない企業や社員の雰囲気を理解する難しさがコロナ禍での就職活動にはあったと思います。一方、オンラインでの説明会やインターンシップは参加するハードルが低く、多くのイベントに参加することができました。

—— 就職活動中に、ご父母・保証人にしてもらってよかったことは何ですか。

両親は私の意志を尊重してくれていたため、プレッシャーを感じることなく就職活動を進めることができました。またオンラインでの説明会やインターンシップを自宅で受ける際には静かな環境づくりや、部屋に入らないよう配慮してもらいました。就職活動中でも常に穏やかな雰囲気が家の中にはあり、それが自分の自信と安心感に繋がっていたように思います。両親には感謝しています。

—— 就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

今までキャリアアドバイザーさん、就職担当の職員さん、研究室の教授、メンバー、家族、友人など、たくさんの方に頼り、サポートしていただきました。そのおかげで最初から最後まで満足のいく行動、結果が出せたと思っています。みなさんもたくさん周りの人を頼ってください。学業やアルバイトとの両立等、大変なこともあると思いますが頑張ってください！





TDU Space Project

TDU Space Project ARLISS 2023 結果報告

理工学部 機械工学系 3年 チームリーダー 青柳 洸太郎



ロケット運搬中



参加団体集合写真



ゴール前の機体

ゴール後の機体

私たち TDU Space Project は模擬惑星探査機 CanSat を設計、開発し 9 月にアメリカで開催される国際大会 ARLISS (A Rocket Launch for International Student Statelets) と 3 月に開催される種子島ロケットコンテストに毎年出場しています。また、これら開発から運用までの一連の流れを通じ、将来社会で即戦力となるエンジニアとして活躍できるようになることを目指しています。CanSat とは飲料缶サイズの小型人工衛星の通称で飲料缶の Can と衛星の Satellite を組み合わせた造語です。私たちはそこから派生したローバー型の探査機を開発しています。

今年は 9 月 10 日から 15 日にかけてネバダ州のブラックロック砂漠で開催された ARLISS に参加してきました。国内外から 19 チームが参加し各チーム 2 回の打ち上げを行いました。大会では CanSat をロケットに搭載し、上空 4000m まで打ち上げ、パラシュートで降下します。着地後にパラシュートを分離して走行し、あらかじめ指定されたゴールを目指します。ロケット搭載前に行う電源投入の後はゴールするまで機体の制御は外部からの通信を介さない自律制御で行われ、最終的にゴールに近い機体が優勝となります。

今大会では 2 回の打ち上げを行いました。1 度目の打ち上げではパラシュートの分離に失敗しリタイアとなりました。2 回目の打ち上げでは分離及び走行しゴールから 660m まで走行することができました。しかし、機体が風によって大きく流されゴールからおおよそ 5km の地点に着地したことにより走行距離が想定よりも増加し、バッテリー切れにより停止しました。最終的な結果ではゴールからの距離を競う Accuracy Award で 4 位となりました。

今大会を通し分離動作の確実性や走行時の直進安定性など複数の課題がわかりました。一方走行距離は設計値と同等以上が確保できていることが確認でき、このデータを次の機体に活かします。次の大会は 3 月に行われる種子島ロケットコンテストです。今回の結果を踏まえた新たな機体を開発し、より速く正確にゴールに向かい優勝します。

講演会をはじめ応援して下さいの皆様のおかげで私たちは普段の生活だけでは経験できない本気のものづくりを経験することができ、技術的にも人間的にも大きく成長することができています。これからも夢に向け日々全力で取り組んでいきますので応援よろしくお願いします。

自動車部

挑戦することの面白さ

理工学部 機械工学系 2年

久保 信一郎



私たち自動車部は9月9日、10日に栃木県、モビリティリゾートもてぎ(旧ツインリンクもてぎ)で開催された、「Honda エコ マイレッジ チャレンジ」、通称「エコラン」と呼ばれる1リットルのガソリンで何キロメートル走行できるのかという、燃費を競う競技に参戦しました。出場クラスは中学高校生、大学生、社会人、二輪車に分けられており、毎年全国から200チーム以上が参戦する大規模な大会です。各チームが低燃費の自動車、通称「エコランカー」を開発し、その性能を競います。

私たちは今回、大学生クラスと二輪車クラスの二つに参戦しました。

大学生クラスには自作のエコランカーで出場し、570km/Lで完走はしたものの、制限時間内に走りきることが出来ず、順位なしとなりました。二輪車部門は159km/Lで34チーム中11位という結果でした。

大会に向けて準備していた時には、マシンの整備に悪戦苦闘し、マシンが走っていない状態で大会の日が近付き、いつの間にか目的が大会で勝つことではなく、大会に出場して、走ることに置き換わっていました。新型コロナウイ

ルス感染症の影響でマシン開発のノウハウや勝負に対するマインドが引き継いでいないことが原因の一つです。それでも、大会期間は皆勝つためにどんなテストをして、どんな対策をすればいいのかを検討し、熱意をもって素早く行動できました。皆が同じ目標のために動いていると、改善点がたくさん見えて大変でしたが、自分はまだまだできることがある、成長できる機会があることが分かり、ワクワクできました。新しいことに挑戦できる面白さを今後携わるすべての開発の原動力にします。大会で得た熱意をもって、来年の全国大会で優勝します。そのために、各々の理想を共有し、チームの理想を創りあげます。他のチームとは全く異なる考え方で、重量も空気抵抗も最強のエコランカーを開発します。また、高いスキルを得るために、先生やOBの方々にアドバイスを求め、卒業論文や本から得たノウハウをすぐにマシンに活かします。トライアンドエラーを繰り返しながら、チームも私も成長します。

これまでご支援していただいた皆様方、ありがとうございました。これからも私たちは目標に向けて活動していきますので、ご期待ください。

東京電機大学 FCV・EV プロジェクト

バッカス 2023 ～夢を乗せて～

工学部第二部 電気電子工学科 4年

木本 陽光



東京電機大学FCV・EVプロジェクトは、先生、OB、企業の協力を得て、今年の8月に秋田県大潟村で開催された世界三大ソーラーカーラリーレースのひとつである、ワールド・グリーン・チャレンジ・ソーラーカーラリー(WGC)に参加しました。本大会はクリーンなエネルギーを用いた自動車のレースです。このレースは速度を競うものではなく、省エネ技術を含む持続可能なエネルギー社会の実現を目指し、あらゆる提案を目的とした大会になっています。

私達は、「実学尊重」の精神に基づき、自動車製作を学生が主体となって行うことで、本学のOB、OGのような優秀な技術者になることを目的として、活動を行っています。車両の設計、製作はもちろん、自動車に使用されるほぼ全ての電気部品をゼロから設計・製作し、実際に車両に搭載しています。授業後や休日等を利用して、先生やOBからアドバイスを貰いながら、実験を繰り返して、製作を進めていきました。自動車製作から、ものづくりの面白さや難しさを感じ、座学だけでは得ることのできない、貴重な経験ができました。

今年度の大会は、走行距離の向上の観点から、新設計のDC/DCコンバータを搭載してレースに挑みました。

大会期間中、会場の気温が37℃を超える猛暑日となり、過酷な環境の中でのレースになりました。熱による電気部品の故障や3Dプリンタで制作した部品の融解などのトラブルが発生しましたが、冷却ファンの増設やテープでの補強等、臨機応変に対応を行いました。

その結果、バッテリーの残量が尽きるまで走行することに成功し、3日間合計で約80km走行することができました。参加したグリーンフリートクラスでの成績は、5チーム中、周回記録4位プレゼンテーション1位で、総合4位となりました。

自分たちで制作した自動車が走ったときの感動は今でも覚えています。生涯、忘れることはないと思います。このプロジェクトは、素晴らしい技術者に近づくための一歩であると考えています。

無事に大会を終えることができ、現在は、故障した電気部品の原因究明や改良、来年度の大会に向けた新設計のインバータ製作や燃料電池システムの開発を行っています。

今回の大会に参加したことで得た経験や技術を活かし、私たちは今後も公道を走る自動車の実現に向けて、活動を続けていきます。

硬式野球部

感謝

理工学部 建築・都市環境学系 3年
庄司 昶琉



私たち軟式野球部は「全国大会進出」を目標に掲げて活動しています。この目標は昨年度のチームから掲げているもので、「大学軟式野球でもこれだけ本気になってやれるんだ!」ということを先輩方がその背中と熱量をもって伝えてくれました。

そして今回、首都大学軟式野球連盟春季リーグ戦を勝ち抜き、上位大会である「東関東ブロック大会」に出場することができました。この大会は関東大学軟式野球4連盟の代表が集まり全国大会に出場できる1枠をかけて争われます。この戦いを勝ち抜くことができれば目標を達成することができるため、自分たちのすべてをかけて臨みました。しかし結果は初戦敗退に終わり忘れることのできない悔しい大会となりました。試合は序盤に大量点を奪い優勢に進めるも、徐々に点差を縮められ、相手のムードに飲み込まれ、自分たちの弱さ・脆さが出てしまったと思います。

結果はとても悔しいものでしたがとても貴重な経験をすることができました。上位大会のレベルや雰囲気を感じ、自分たちはどれほど通用するのか。そして「またあの舞台に立ちたい」「さらに上の舞台の立ちたい」「今度こそ勝ちたい」。そういった感情を抱かせてくれました。この思いを胸に秋季リーグ戦では目標を達成できるように頑張りたいと

思います。

私たちは決して野球をしに大学に来ているわけではありません。学生の本分はあくまで学業です。そのため部として活動する中で頭を抱えるような課題はたくさんあります。ただ、そんな状況でも練習では選手間でアドバイスし合い、意見をぶつけ、最善は何かを考えながら活動しています。昨年度チームの主将がリーグ戦前にある言葉を伝えてくれました。「大学卒業後、野球に本気で打ち込む人は少ないと思う。打ち込める環境も少ないと思う。だから学生野球最後にすべてをかけてやってみよう」。今季の秋季リーグ戦が私の学生野球最後となるので、チームメイトと本気ですべてをかけて戦いたいと思います。

最後に、私たちは高校時代「新型コロナウイルス」によって苦しい思いをした世代です。制限があり自由にできない、夢が奪われる。当たり前が当たり前ではなくなりました。だから今こうして本気で野球に取り組めている環境にとっても感謝しています。後援会の皆様はじめ、ご支援ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。今後もよい報告ができるよう選手・マネージャー一同精進いたしますので、これからも変わらぬ応援よろしくお願いいたします。

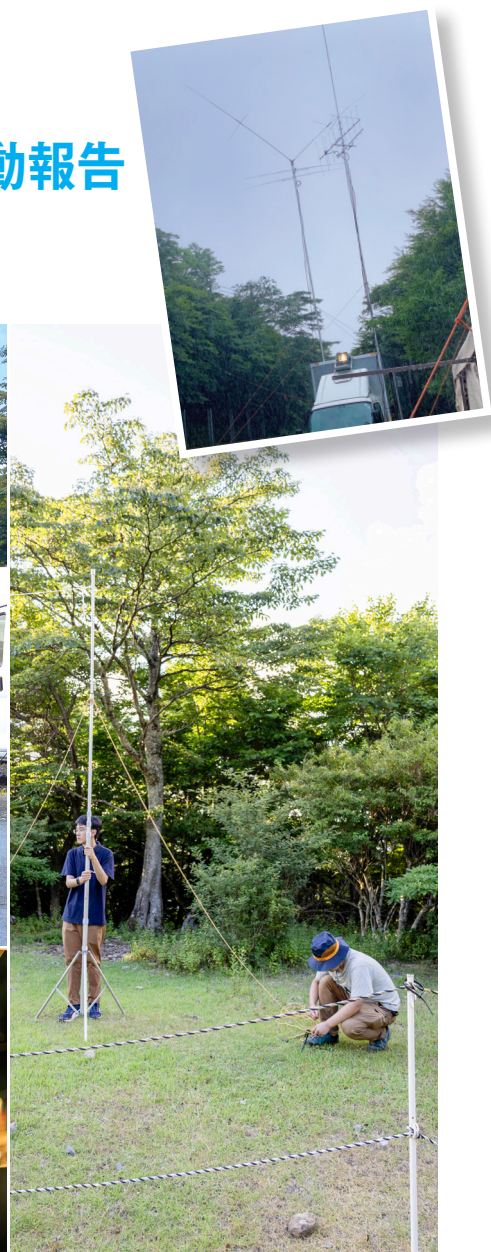
アマチュア無線部

日本アマチュア無線連盟主催

第66回フィールドデーコンテスト 活動報告

工学部 情報通信工学科 3年

石井 洸助



アマチュア無線部ではアマチュア無線局の運用、アマチュア無線の大会への参加、電子工作、無線関連のイベントへの参加や出展、他大学無線部との技術交流などを行っています。この度、アマチュア無線部では8月5日から8月6日までの2日間、日本アマチュア無線連盟主催 第66回フィールドデーコンテストに静岡県伊東市の標高1000mの山に滞在し、参加しました。この大会はアマチュア無線を屋外で運用することを目的とし、トラックに無線機やアンテナなどを積載して現地まで輸送し、通信拠点を設営し、アマチュア無線局の運用を行いました。この大会には、前回の参加から4年ぶりであり、部員全員が初めての参加でした。

私たちは電信電話マルチオペオールバンド部門に参加しました。この部門では、許可された全ての周波数帯を用いて電信（モールス通信）及び電話（音声通信）によりアマチュア無線局と交信し交信局数と地域数を競います。

普段の部活動では大学の設備を使って通信をしているため、今回の大会では1から通信拠点を構築するという経験をすることができました。また、大会前には発電機の試運

転やアンテナ、テントの組み立て手順の確認を実施することで、当日は無線、電気、機械知識が豊富な部員が中心となりスムーズに設営を行うことができました。

結果として、3.5MHzから1200MHzの周波数帯域を使用して、全国の約500局のアマチュア無線局と交信しました。

課題としては、発電機のノイズにより受信信号が埋もれてしまい何も聞こえない周波数帯があったため、ノイズフィルタの製作を行いました。来年の大会で使用して効果を確認したいと思っています。また、アンテナの設置方法についても、アンテナの性能を最大限引き出す方法を検討したいと考えています。アマチュア無線に関する個々の技術向上の機会として、今後も野外運用を実施したいと思っています。

後援会の皆様をはじめ、アマチュア無線部の活動にご理解いただき、ご支援いただいている皆様に厚く御礼申し上げます。感染症対策により活動が制限されている中ではございますが、可能な範囲で積極的に活動していきたいと思っています。今後とも宜しくお願い致します。

東京千住キャンパス

11号館(複合施設)

ロジャア
丹羽ホール
100周年ホール
カフェ(イタリアントマトJr.)
ギャラリー
実験・実習室
ワークショップ教室
教員室・研究室
セミナー室
学生ラウンジ
ルーフガーデン1
入試センター
国際センター
法人・大学本部
校友会
総合受付

22号館(図書館・教室)

図書館
教室・パソコン教室
学生ラウンジ
ルーフガーデン2
東京千住キャンパス事務部
学生支援センター
総合メディアセンター
健康・学生相談室
受付

33号館(学生厚生施設)

食堂
カフェラウンジ
売店
学生ラウンジ
体育館
武道場
トレーニングルーム
学生部室

44号館(研究施設)

実験・実習室
教員室・研究室
教室
セミナー室
学生ラウンジ
受付

55号館

教室
実験・実習室
教室・研究室
ものづくりセンター千住
学生ラウンジ
民間スポーツクラブ
ルーフガーデン3
総合メディアセンター
情報環境学部事務部
受付



埼玉鳩山キャンパス

11号館

総合メディアセンター
(パソコン実習室)
(図書閲覧室)
研究室
ATM

22号館

総合メディアセンター
(パソコン実習室)
研究室
実験室
夢工房

33号館

教室
研究室
化学実験室

44号館

第1学生食堂「樺」
喫茶「HATO CAFE」
理容室・郵便局

55号館

体育館

66号館

教室
研究室
実験室

77号館

第2学生食堂「樹海」

88号館

教室
物理実験室
研究室

99号館(100周年記念棟)

自習室
クラブ・委員会室
ラウンジ・売店
リエゾン施設
談話室

1010号館(本館)

エントランスホール
事務室
プレゼンテーションホール
メディアルーム
教室
パソコン教室

1111号館

総合研究所
埼玉共同利用施設

1212号館

アトリウム
学習サポートセンター
国際センター鳩山プランチ

1313号館

教室
実験室
研究室
バーチャルスタジオ

13多目的広場



令和4年度は、「奨学金の充実」「施設・設備の充実」「課外活動への支援等」「その他」の用途区分で募金活動を行い、1,420件、72,926,687円(内ご父母169件、2,796,317円)のご寄付を賜りました。

また、令和4年度につきましても、経済的に困窮した学生・生徒への支援に際し、大学院、大学、高等学校、中学校に在学する学生・生徒のご父母の皆様をはじめ、卒業生、教職員・元教職員や一般賛同者の個人、団体、法人から、温かいご支援を賜りました。皆様からのご厚志に心より御礼申し上げます。

今後とも、本学園に対しまして、ご支援お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

なお、サポート募金を原資として実施した各事業につきましても、以下のとおりご紹介させていただきます。

学校法人東京電機大学 理事長／学校法人東京電機大学サポート募金委員会委員長
石塚 昌昭

1. 東京千住キャンパス5号館、埼玉鳩山キャンパス11号館「ものづくりセンター」

「教育」「研究」「社会貢献」を目的とした、「ものづくりセンター」は平成29年4月に開設した施設です。現在まで、東京電機大学の建学の精神「実学尊重」を具現化する最新施設として、安全講習・加工講習など、各種講習会の開催やプロのスキル・豊富な知識を有する技術員による技術相談の実施を通じ、学生の技術的思考の涵養・学生主体のものづくりを支援するための教育を推進してきました。

令和4年度は、学生のさらなる支援を実現すべく、10月3日より埼玉鳩山キャンパス11号館1階にて「ものづくりセンター鳩山」の試行運用を開始しました。開始するにあたり、東京千住キャンパス利用者からの人気が高い3Dプリンタや、基板加工機、ワークステーション等を導入し、学生が利用する際に支障をきたすことのないよう環境作りを整えました。さらに、両キャンパスをzoomで接続することにより、リアルタイムサポート環境を提供し、従来よりも幅広いサポートを行うことが可能になっております。

今後も令和5年度からの本格運用を目指す埼玉鳩山キャンパスはもちろん、7年目を迎えた東京千住キャンパスもご支援により導入した機器を活用し、高品質なサービス・支援を提供してまいります。



3D プリンタ



加工講習の様子

2. 未来科学研究科・未来科学部における研究・教育設備事業

鈴木茂昭様(本学卒業生)からのご厚志を原資として、応用分野が広く、インパクトも大きい超高精細・超高色域・大画面映像時代の要望に応えた研究・教育設備「8Kスタジオ」を東京千住キャンパスに設置いたしました。

最先端映像技術に触れることで、新たな映像技術やコンテンツ制作を創出する場となるよう努めてまいります。

また、迫真の映像で水害体験などを行うこともできるので、住民の危機意識の喚起に貢献できるような地域連携活動を取り組んでまいります。



8Kビデオカメラ



VR 水害避難体験システム 映像

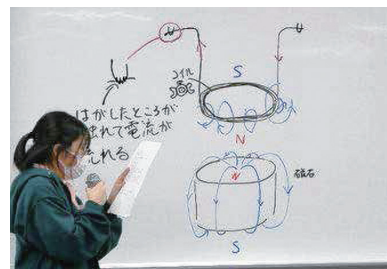
3. 研究推進社会連携センター(CRC)

教員の研究活動の支援及び研究成果等の社会還元を基本的な活動方針に掲げ、幅広い分野にわたって独創性の高い研究を推進しています。さらには、教育・研究活動を通じて産官学連携ならびに地域連携を推進し、地域社会の活性化に貢献するために様々な取組を推進しています。

令和4年度のサポート募金は、本学研究者による講座「電子工作教室」・「親子電気教室」や本学学生による講座「電大ガールズによる理科実験教室」の開催費用として使用させていただきました。



親子電気教室



電大ガールズによる理科実験教室

4. 奨学金の充実

①東京電機大学学生サポート給付奨学金

家計急変により学費の支弁が困難な修学意欲のある学部生に対し、在学中1回に限り25万円給付いたします。

令和4年度は、令和3年度に引き続き、2年間の特別措置として、制度の一部を緩和いたしました。給付額25万円および50万円の区分で募集し、33名の学生に対し、総額518万円の奨学金を給付いたしました。令和5年度も家計急変した学生の支援を積極的に行ってまいります。

②東京電機大学深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金

初代電機第一工業学校長などを歴任された故波多諄三先生のご息女 故深井綾様からのご厚志を原資とし、「東京電機大学深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金制度」を実施しています。

本制度は、大学院に在学する女子学生に対して奨学金を給付し、将来、研究者・技術者として社会で活躍できる人材育成を目的としています。

令和4年度は、79名の学生に奨学金を給付いたしました。

奨学金受給学生からの感謝の声

- この度はご寄付いただきありがとうございました。私は父親が病気を患い家計急変がおきました。はじめは父親の体調が心配でしたが、遅れて金銭面についても不安が迫ってきました。しかし、給付をいただけたおかげで不安要素を減らすことができなんとか自分を保つことができました。非常に助かりました。ありがとうございました。
- この度は、深井綾奨学生に採用していただき誠にありがとうございます。現在、私は東京電機大学の博士課程で日々研究に取り組んでいます。工学分野において女性研究者の数は未だに少ないなかで、本奨学金制度は、研究者を目指す女性や大学院進学を考えている学生の後押しになっていると感じております。私自身も、本奨学金による支援を学費の一部に充て、研究活動に専念することができています。今後も支援してくださっている皆様のご期待に添えるよう邁進いたします。最後に、ご支援くださった全ての方々 に心より感謝申し上げます。

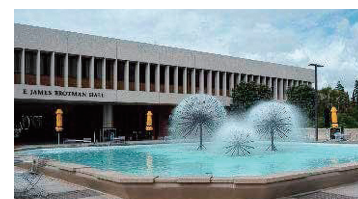
5. 東京電機大学神山治貴海外留学派遣奨学金

神山治貴様(本学卒業生)からのご厚志を原資とし、「東京電機大学神山治貴海外留学派遣プログラム」を平成27年度から開始いたしました。

本プログラムは、本学の学部在学学生で学長賞の受賞者のうち、学部又は修士在学中に英語圏の大学等に海外留学(単位取得)を希望する者の中から選考し、優秀でグローバルな人材を育成することを目的としています。

令和4年度はアメリカのカリフォルニア州立大学ロングビーチ校に1名留学し、オーストラリアのクイーンズランド工科大学に2名現在留学中です。

令和5年度の留学予定として、2名の学生が本奨学金の候補者となっています。



カリフォルニア州立大学ロングビーチ校



クイーンズランド工科大学

東京電機大学神山治貴海外留学派遣プログラム留学生からの報告

カルフォルニア州立大学ロングビーチ校では、経験を伴う学習をすることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。寮生活では、様々な国の人達と交流を持つことができ、主張と許容のバランスの大切さを知るとともに、真のリーダーシップとは何かを考えさせられました。今後は、留学で得た経験を活かし、行動力を培いながら、社会に役立てたいと思います。ご支援いただき、ありがとうございました。



6. 施設・設備の充実

(1) 大学

① 学生支援環境の整備 (学生支援センター(キャリア支援・就職担当))

学生からの要望に応えるべく、オンライン就職活動支援として学生支援センターに消音型オンライン面接対応型ブース、消音型面談・ミーティングブースを設置いたしました。

また、就職ガイダンスとして、全学生を対象としたTDUキャリアデザインプログラム「全体から考えるフレームワーク思考」、「考える力を高める方法(抽象化思考)」を開催。オンデマンド配信聴講を含む190名が受講いたしました。

② 学生食堂整備 (鳩山キャンパス)

7号館第2学生食堂「komorebi」のゆで麺機入れ替えを行いました。従業員の業務の効率化を図り、食堂の混雑解消に寄与することができました。

7. 課外活動への支援

課外活動への支援として、次の20団体に対してご寄付をいただきました。

(1) 東京千住キャンパス (13団体)

- 放送委員会
- 合同体育祭
- アマチュア無線部
- グリークラブ
- 剣道部
- 硬式野球部
- 自動車部
- 水泳部
- 吹奏楽部
- 卓球部
- ダンス部 B.Light family
- 洋弓部
- IDC ロボコン

(2) 埼玉鳩山キャンパス (7団体)

- 理工学部体育会
- 放送委員会
- JAZZ 研究会部
- 軽登山部
- 卓球部
- 東京電機大学 Formula SAE Project
- TDU スペースプロジェクト

● 学生団体よりサポート募金の使用用途の報告

管弦楽部 (東京千住キャンパス)

管弦楽部は、年に2回の定期演奏会や入学式・卒業式での演奏に向けて、合宿などを行いながら、日々練習に励んでいます。皆様からいただいたサポート募金は、指揮者をお呼びする費用など、演奏会にかかる費用にあてさせていただきました。ご支援いただきましてありがとうございました。



Formula SAE project (埼玉鳩山キャンパス)

優秀かつ即戦力になるエンジニアの育成を目的としたアメリカの自動車技術会であるSAEによって発足したFormula SAE。

今回のサポート募金は、フレームに使用するパイプやタイヤ、エンジン部品等の購入に充てました。

令和5年度は、12月に行われるオーストラリア大会に出場予定で、現在総合3位以内入賞を目指し、チーム一丸となって頑張っています。



コンピュータクラブ部（埼玉鳩山キャンパス）

コンピュータクラブ部は、総勢 77 名が、ゲーム・イラスト・DX（デジタルトランスフォーメーション）の3つの班に分かれて活動しています。

今回のサポート募金は、鳩山祭やオープンキャンパスでの作品展示に必要な液晶ディスプレイの購入費や、イラストを用いたしおりの印刷費に充てました。

去年10月に電子工作やWebサイトの開設、アプリ開発などを行うDX班も加わり、令和5年度はより一層意義のある制作活動を展開していく所存です。

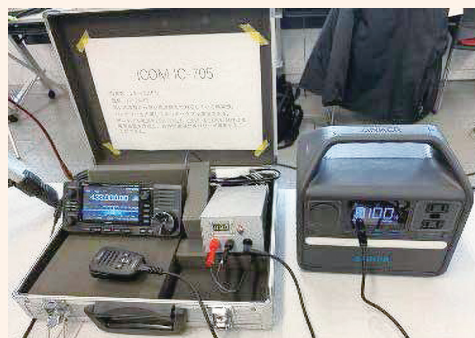
ご支援いただき、ありがとうございました。



アマチュア無線部（東京千住キャンパス）

年に数回行われる様々なアマチュア無線の大会に参加しながら、電子工作、プログラミング、自作PCの制作など、様々な活動を行っています。サポート募金で、幅広い周波数をカバーできる無線機器を購入することができました。今後も部員一同アマチュア無線の振興に努め、積極的に活動していきます。

ありがとうございました。



8. 寄贈

ゴージャージャパン株式会社（代表取締役社長 山本哲也様）より、新型コロナウイルス感染症に有用なアルコール手指消毒剤8,400本の現物の寄贈をいただきました。

寄贈いただきましたアルコール手指消毒剤は、学生・生徒の安全のために使用させていただきます。



9. その他の事業に対する主な寄付

- (1) ME（生体医工学）講座の推進
- (2) 工学部第二部の教育・研究に対する支援
- (3) 未来科学部の教育・研究に対する支援
- (4) 未来科学部 建築学科の教育・研究に対する支援
- (5) 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科の教育・研究に対する支援
- (6) 理工学部生命科学系の実験設備の充実
- (7) 東京千住キャンパスの研究、設備の充実
- (8) スポーツ施設設備の充実（鳩山キャンパス）
- (9) グランドピアノの購入
- (10) ものづくりセンター施設・設備の充実
- (11) 東京千住キャンパスの研究費及び学生の優秀賞の副賞に対する支援
- (12) 分析センターに対する支援
- (13) 留学生に対する支援

令和4年度事業報告オンデマンド配信中

上記の報告内容を学生および各担当者の生の声によりお伝えしております。ぜひご覧ください。



寄付者の声

寄付者から学生等への応援メッセージを公開中です。
ご寄付いただいた皆様からのメッセージも募集しております。



東京電機大学後援会ホームページ

後援会のお知らせや事業紹介、父母懇談会の日程、『学苑』のバックナンバーなどを掲載しています。



ぜひご覧ください。
今すぐQRコードからアクセス！

東京電機大学後援会



アゴラ 学園広報誌「TDU Agora」

「TDU Agora」では、毎月、本学の学生・生徒並びに教員の活躍、大学、中学校・高等学校の取り組み、イベントなど、沢山の情報をお届けしています。是非ご覧下さい！



「TDU Agora」はこちらから
ご覧いただけます

TDU Agora



大学の事務取扱は、その内容により担当部署が分かれております。お問い合わせなどは下記の部署にご連絡ください。

学業関係 授業、試験、成績など

●工、工2、未来、システム、情環	
東京千住キャンパス事務部(教務担当)	03-5284-5333
●理工	
理工学部事務部(教務担当)	049-296-0430

学生生活関係、奨学金、クラブ活動など

●工、工2、未来、システム、情環	
学生支援センター(学生厚生担当)	03-5284-5340
●理工	
理工学部事務部(学生厚生担当)	049-296-0496

就職関係 就職、アルバイトなど

●工、工2、未来、システム、情環	
学生支援センター(キャリア支援・就職担当)	03-5284-5344
●理工	
理工学部事務部(学生厚生担当)	049-296-0489

進学関係 大学院進学、学部の転部、編入学など

●全学部	
入試センター	03-5284-5151

学費関係 授業料、手数料など

●全学部	
経理部(会計担当)	03-5284-5131

国際交流関係 留学生、短期海外英語研修など

●全学部	
国際センター	03-5284-5208

後援会関係 父母懇談会など

●全学部	
後援会事務局(学生支援センター(学生厚生担当))	03-5284-5340

※工＝工学部、工2＝工学部第二部、理工＝理工学部、情環＝情報環境学部、未来＝未来科学部、システム＝システムデザイン工学部

後援会へのご意見はこちらへ

後援会では、東京電機大学がより良い大学となるよう活動を展開したいと考えております。

つきましては、ご子女を通学させる中で、日頃感じている問題点や要望など、率直なご意見をお聞かせくだされば幸いです。

メール gs_kouenkai@jim.dendai.ac.jp

電話 03-5284-5340

『学苑』第166号(非売品)

2023年11月発行

発行 東京電機大学後援会

発行者 松島 周平

印刷 東京アート紙行株式会社

東京電機大学後援会事務局

(学生支援センター(学生厚生担当))

Tel: 03-5284-5340 Fax: 03-5284-5391

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

<https://www.dendai.ac.jp/about/campuslife/tdupfa/top.html>